

一関市長定例記者会見

日時：令和2年1月6日（月）
午前11時から12時まで
場所：特別会議室

○市長発表事項

- 1 「SDGs 日本モデル」宣言に賛同しました

○その他

「SDGs日本モデル」宣言に賛同しました

市では、人口減少・超高齢化など社会的課題の解決と持続可能な地域づくりに向けて、企業・団体、学校・研究機関、住民などとの官民連携を進め、日本の「SDGsモデル」を世界に発信する「SDGs日本モデル」宣言に賛同し、SDGsの推進に取り組んでいきます。

記

1 「SDGs日本モデル」宣言とは

2019年1月30日に開催された「SDGs全国フォーラム」において、神奈川県を中心に全国93自治体の賛同のもと発表されました。

この宣言は、地方自治体が地方創生やSDGsの目標達成に向けて、多様な主体とのさらなる連携を通じて、社会的課題の解決を図っていくことを宣言しています。

※「SDGs日本モデル」宣言に関して、別紙チラシを参照ください。

2 市が推進する主な取組

(1) 資源・エネルギー循環型まちづくり

2015(平成27)年度から、太陽光などの自然エネルギーとともに、一般廃棄物やバイオマスなどをエネルギー資源と捉え、それらが地域内で循環する「資源・エネルギー好循環のまち いちのせき」を目指し「一関市資源・エネルギー循環型まちづくりビジョン」を策定し取組を推進してきています。

(2) SDGs × 一関市総合計画

現在、新たな将来のまちづくりの指針となる一関市総合計画後期基本計画(2021年度～2025年度)の策定を進めており、SDGsの理念を踏まえたものとします。

(3) SDGs × 職員行動目標

行政の全ての分野、領域において、SDGsにおける目標を設定するとともに、職員個人としても、日常生活において、SDGsの行動目標を掲げて取り組んでいきます。

(4) SDGs × 市民・事業所

日常生活や仕事におけるSDGsとの関わりを認識し、取り組む意義やメリットに関して理解を深め、官民連携のもとにSDGsに取り組んでいきます。

問い合わせ先 一関市役所
〒021-8501 岩手県一関市竹山町7番2号
市長公室政策企画課長 佐藤 正幸
電話：(0191)21-8641 (ダイヤル)
FAX：(0191)21-2164
メールアドレス：seisaku@city.ichinoseki.iwate.jp

一関市は「SDGs日本モデル」宣言に賛同しました



「SDGs日本モデル」宣言

私たち自治体は、人口減少・超高齢化など社会的課題の解決と持続可能な地域づくりに向けて、企業・団体、学校・研究機関、住民などとの官民連携を進め、日本の「SDGsモデル」を世界に発信します。

- 1 SDGsを共通目標に、自治体間の連携を進めるとともに、地域における官民連携によるパートナーシップを主導し、地域に活力と豊かさを創出します。
- 2 SDGsの達成に向けて、社会的投資の拡大や革新的技術の導入など、民間ビジネスの力を積極的に活用し、地域が直面する課題解決に取り組みます。
- 3 誰もが笑顔あふれる社会に向けて、次世代との対話やジェンダー平等の実現などによって、住民が主役となるSDGsの推進を目指します。

一関市が推進する主な取組 ～ これまでも そして、これからも ～

資源・エネルギー循環型まちづくり

資源・エネルギー好循環
のまち「いちのせき」



バイオマス産業都市構想の推進 (平成28年10月)



市民による山林での集材活動

乾式オフィス型製紙機導入 (令和元年11月)



県内初導入のペーパーラボを稼働する勝部市長

再生可能エネルギーの活用 (平成22年4月)



住宅用太陽光発電設備への補助

メダルプロジェクトにつながる提案 (平成26年10月)



イベントで使用済小型家電の回収をPRする勝部市長ら

持続可能な
地域づくりに向け
みんなで取り組み
しましょう



■■■ SDGs × 一関市総合計画

現在、新たな将来のまちづくりの指針となる一関市総合計画後期基本計画(計画期間 2021年-2025年)の策定を進めており、SDGs(持続可能な開発目標)の考え方を取り入れることとしています。

■■■ SDGs × 職員行動目標

市の行政の全ての分野、領域においても、SDGsにおける目標を設定するとともに、職員個人としても、日常生活において、SDGsの行動目標を掲げ取り組んでいきます。

■■■ SDGs × 市民・事業所

日常生活や仕事におけるSDGsとの関わりを認識し、取り組む意義やメリットに関して理解を深め、官民連携のもとにSDGsに取り組んでいきます。

「SDGs」とは・・・

SDGsは、先進国・途上国すべての国を対象に、経済・社会・環境の3つの側面のバランスが取れた社会を目指す世界共通の目標として、2015年9月に国連で採択されました。貧困や飢餓、水や保健、教育、医療、言論の自由やジェンダーなど、人々が人間らしく暮らしていくための社会的基盤を2030年までに達成するという目標になっていて、17のゴール(目標)とそれぞれの下により具体的な169項目のターゲット(達成基準)があります。

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS

